

8月にも

国際協力機構、発足へ

7/26 附
毎日 55 頁

AMDA アジア中心に援助

前バンコク知事のチャム

ロン氏を岡山市に招いている「アジア医師連絡協議会」(AMDA、本部・岡山市)

の菅波茂代表は二十二日夜に開いた「チャムロン氏を囲む会」で、「岡山から世界へ」を合言葉に国際協力の体制を整えていこうとい

う「岡山国際協力機構」を、八月にも発足させることを明らかにした。地方をベースにした堅実な国際協力の取り組みのモデルケースとして、注目を集めそうだ。

「岡山国際協力機構」は約二年前から構想が練ら

れ、チャムロン氏の来日を

機会に、計画が現実化した。

菅波代表によると、協力機構はアジアを中心に、難民、農民、留学生を三本柱に、さまざまな援助プロジェクトを実施していきたいとしている。

発足準備委員会のメンバ

ーは、菅波代表のほか、黒住信彰・黒住教学院学院長▽田中治彦・岡山大助教授(社会教育)▽林原総務・広報グループ主幹のモハマッド・ライースさん——ら計七人。八月後半に準備委員会を開き、正式発足させ

たいとしている。

菅波代表は「これまでAMDAが取り組んできたことを、より広い立場で国際協力に取り組んでいけると思う」としている。また、モハマッド・ライースさんは「私が初めて岡山に来た時には、外国人はほとんど見かけなかったが、今では街の中で普通に见かけるようになった。それだけに国際協力の土壌は育っているといえるわけで、この機会に私の経験を含めて、素晴らしい活動ができれば」と話している。